

一般社団法人上田青年会議所の先輩が立ち上げ、継承されてきた上田わっしょい。幼少の頃を振り返れば記憶に鮮明に残り、大人となった今、上田を語る際に誇らしく思える地域の資産であると感じます。市民総和楽の想いが形となったこのお祭りは、人の記憶に鮮明に残り、その記憶が次に繋がれて継承されてきたからこそその資産です。この大切なお祭りを継承し、発展させ、地域の大切な資産を次に繋げてまいります。

また、地域の魅力は、それをしっかり認識して発信することで、地域に人が集い地域の発展につながる資産になると考えます。大河ドラマ真田丸の放映により私たちの地域に多くの人が集ったことは、二年以上経った今でも思い出されます。地域の先人たちが紡いできた地域の魅力が、地域の資産となって明確な価値を示したものであると感じます。一方で、地域の魅力は必ずしも分かりやすいものではなく、日々の暮らしの中で何気なく感じられるものや、慣れ親しんでいるからこそ気付きにくいものが多いと思います。自分たちの住むまちが好きだと感じている人は私だけではなく多くの方がそうであると思います。ただ、いざ何が好きかと問われるとぱっと出てこないということは多々あるかと思っています。私たちの住むこのまちを改めて見つめ、まちの魅力を再認識する。再認識したまちの魅力を形にして発信する。魅力の再認識と発信を活動を通じて実践し、私たちのまちの魅力を価値を発する地域資産としてまいります。

自分たちの住むまちをどうして好きだと思うのか、こうだったらもっといいんじゃないか、どのように発信したら多くの方に触れてもらえるだろうか、そんな地域の魅力についての議論をするとき、みんな目が輝いて、その言動には根底にわくわくする気持ちが感じられてその気持ちが伝播し、ふと、みんな自分たちの住むこのまちが大好きなんだなぁと気付きます。こういう気持ちを大切に熱を持って形にしていくことが重要で、そのような積み重ねが地域を形作ってきたのだと感じます。地域に対してわくわくする気持ち、自分の住む地域が大好きだという気持ちを忘れずに、大切に、地域の魅力に全力で向き合い、活動を通じて発信してまいりたいと思います。